

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北海道科学大学短期大学部
設置者名	学校法人 北海道科学大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	自動車工学科	夜・通信			36	36	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 Web サイト「HUS ナビ」教務ブック(シラバス含む)の授業計画書(シラバス)欄に「実務経験のある教員による授業科目リスト」において公表
<https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/2014/tandai/jc-jitsumu-2020.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道科学大学短期大学部
設置者名	学校法人 北海道科学大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本法人 Web サイト (https://ed.hus.ac.jp/about/soshiki/) において公表
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社コバエンジニア 代表取締役	2018/5/25 ～ 2022/5/24	卒業生の見地から 助言
非常勤	田中・山崎法律事務所 所長、弁護士	2018/5/26 ～ 2021/5/25	法令分野の知見か ら助言
非常勤	株式会社二十一世紀総合 研究所 顧問	2017/5/26 ～ 2021/5/25	財務分野の知見か ら助言
非常勤	ドゥ・ベストホーム株式 会社監査役	2017/5/26 ～ 2021/5/25	財務分野の知見か ら助言
非常勤	医療法人溪仁会 理事長	2017/5/26 ～ 2021/5/25	薬学・保健医療分 野の知見から助言
非常勤	株式会社北洋銀行 取締役副会長	2019/9/19 ～ 2023/9/18	財務分野の知見か ら助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道科学大学短期大学部
設置者名	学校法人 北海道科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の構成】 本学の授業計画書(シラバス)は、以下の項目で構成されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の基本的情報 (科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員) 2. 授業の目的 3. 授業の方法 4. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書を含む) 5. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応 6. 達成目標 7. 履修に当たっての留意点 8. 試験及び成績評価の方法 <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 授業計画書(シラバス)は、以下の流れで作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学的な教学事項の運営組織である学生支援センターから、「シラバス作成要領」(北海道科学大学 Web サイトに公開 https://www.hus.ac.jp/upload/files/pdf/public-info/syllabus-yokou-2020.pdf)に基づき、学科の学生支援センター主任へ作成依頼する。作成要領には、上記シラバス項目について注意点を明記している。 ・ 学生支援センター主任から、非常勤教員を含め授業担当全教員へ作成依頼する。 ・ 作成したシラバスは学生支援センター主任が集約し、学生支援センターの専門委員会である学生支援委員会が主となり、組織的な審議・確認によりシラバスを完成させる。 ・ 完成した全科目のシラバスは、本学 Web サイト「在学生情報サイト HUS ナビ」の教務ブック(シラバス含む)に PDF ファイルとして収録され、学生のみならず、学外者にも公開される。 <p>【授業計画書(シラバス)の作成・公表時期】 授業計画書(シラバス)は、9月～翌年1月の間で作成並びに上記の組織的な点検を終え、事務的なチェックを経た後、3月下旬までに本学 Web サイト「在学生情報サイト HUS ナビ」の教務ブック(シラバス含む)に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web サイト「HUS ナビ」教務ブック(シラバス含む)の授業計画書(シラバス)欄に公表</p> <p>https://navi.hus.ac.jp/system/tandai/</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各授業科目の達成目標は、ディプロマ・ポリシーの各項目の内容や観点と対応づけて設定されている。

各授業科目の成績評価においては、達成目標の観点にふさわしい手段を用いて評価しており、具体的には、「知識・理解」に対応するものは主に試験を用いて評価し、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行っている。成績評価手段とその比率については、シラバス上に表を用いて明示している。

成績評価は絶対評価で行う。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計 100 点に対する 60 点を合格基準としている。成績評価区分は、秀(S: 90~100 点)、優(A: 80~89 点)、良(B: 70~79 点)、可(C: 60~69 点)、不可(D: 0~59 点)に分けており、可以上を合格とする。

アセスメント・ポリシーに則り、達成目標、評価手段と比率、成績評価分布、成績評価資料等を学科会議で組織的に点検・検討することで、客観的、厳格かつ公正な成績評価を行うための改善・改革を行う。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な成績評価指標として GPA を用いており、以下のとおり算出している。

【GPA の種類】

- (1) 当該学期での学修結果に対する GPA -S (=GPA for Semester)
- (2) 当該学期までの学修結果に対する GPA -T (=GPA for Terms)

【GPA の算出】

- (1) 対象科目は履修した全ての必修科目及び選択科目とする。
- (2) 学則第 14 条から第 17 条の規定により他大学等で修得し、本学の単位として認められた単位については、GPA の対象から除外する。
- (3) GPA は、(1) に定める各授業科目の単位数に下表の GP を乗じて得た数値の総和を、(1) に定める各授業科目の単位数の総和で除した数値とする。

得点	成績区分	GP表記	GP	合否
100~90	秀	S	4	合格
89~80	優	A	3	
79~70	良	B	2	
69~60	可	C	1	
59~ 0	不可	D	0	不合格
	失格	X		

客観的な指標の算出方法の公表方法	本学 web サイト「在学生情報サイト HUS ナビ」の在学生に関する諸規程に、短期大学部履修規程を公表 https://navi.hus.ac.jp/upload/files/basis/regulation/4-01_tandai.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学における卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は、本学校法人のブランドビジョン、本学の建学の精神、学部・学科の人材養成の目的に基づき、策定している。 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は、以下のとおりである。 <p>『自動車工学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、短期大学士（自動車工学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーション力 論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。 2. 課題を発見し、問題を解決する力 情報リテラシー及び論理的思考力を有し、問題を発見・解決するために活用できる。 3. 自らを律し、学び続ける力 進化の早い自動車工学に関する知識・技術を生涯にわたり学び続けることができる。 4. 他者と協力して目的を達成する力 豊かな人間性を有し、他分野と連携・協力して自動車工学に関する知識・技術を活用することにより地域社会の発展に貢献できる。 5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力 自動車工学に関わる専門的な知識・技術を理解し活用でき、快適かつ効率的な自動車社会の実現に向けての問題解決能力を備えている。 6. 総合力 基盤能力と自動車工学に関する知識・技術を統合し、自動車技術を通じて地域社会の発展に貢献でき、快適かつ効率的な自動車社会の実現に寄与できる。』 <p>卒業の認定については、学則並びに履修規程に基づき、必要な単位の修得及び卒業付帯要件を満たしていることを教授会等で審議の上、学長が決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本学 Web サイト「HUS ナビ・教務ブック」（シラバス含む）に「自動車工学科の人材養成の目的と3ポリシー」を公表 https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/2014/tandai/jc-3policy.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北海道科学大学短期大学部
設置者名	学校法人 北海道科学大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyouhoukoku/
収支計算書又は損益計算書	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyouhoukoku/
財産目録	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyouhoukoku/
事業報告書	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyouhoukoku/
監事による監査報告(書)	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyouhoukoku/

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	
中長期計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : https://jc.hus.ac.jp/kyoikujoho/
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 : https://jc.hus.ac.jp/kyoikujoho/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 自動車工学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://jc.hus.ac.jp/sogoannai/stance/)
(概要) 本学は、「科学的市民※」の育成を教育理念の中心に据えて、知識基盤社会を担う市民としての汎用的技能・能力と時代の要請に即した専門の学術を教授・研究し、高い応用能力と健全な心身を備え、科学的思考によって専門職としての役割を主体的に果たせる人材を育成することにより、地域社会の活性化に寄与することを使命としている。 ※科学的市民とは「豊かな人間性ととも、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役割を主体的に果たせる人材」をさす。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/2014/tandai/jc-3policy.pdf)
(概要) 本学における卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) は、本学校法人のブランドビジョン、本学の建学の精神、学部・学科の人材養成の目的に基づき、策定している。卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) は、以下のとおりである。 『自動車工学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、短期大学士 (自動車工学) の学位を授与します。 1. コミュニケーション力 論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。 2. 課題を発見し、問題を解決する力 情報リテラシー及び論理的思考力を有し、問題を発見・解決するために活用できる。 3. 自らを律し、学び続ける力 進化の早い自動車工学に関する知識・技術を生涯にわたり学び続けることができる。 4. 他者と協力して目的を達成する力 豊かな人間性を有し、他分野と連携・協力して自動車工学に関する知識・技術を活用することにより地域社会の発展に貢献できる。 5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力 自動車工学に関わる専門的な知識・技術を理解し活用でき、快適かつ効率的な自動車社会の実現に向けての問題解決能力を備えている。 6. 総合力 基盤能力と自動車工学に関する知識・技術を統合し、自動車技術を通じて地域社会の発展に貢献でき、快適かつ効率的な自動車社会の実現に寄与できる。』 卒業の認定については、学則並びに履修規程に基づき、必要な単位の修得及び卒業付帯要件を満たしていることを教授会等で審議の上、学長が決定する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：
<https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/2014/tandai/jc-3policy.pdf>）

（概要）

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、以下のとおりである。

『自動車工学科では、基本教育科目、専門教育科目の有機的な結合によって、専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性を体系的に理解できるようカリキュラム・フローを作成します。また、各授業科目の達成目標とディプロマ・ポリシー各項目の関連性を集約したカリキュラム・マップを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメント・ポリシーとしてまとめています。

1. 豊かな人間性及び幅広い教養を身につけるため、基盤能力、学修スキル、コミュニケーション力を培う基本教育科目、専門教育科目-工学基礎科目を配置します。
2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための基本教育科目を配置し、自動車整備にとどまらない多様な進路に直結した、専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。
3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。
4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。
5. 自動車整備の枠を超え、専門教育科目-自動車工学科目、専門教育科目-機械工学科目、専門教育科目-マネジメント科目では、自動車産業のすそ野の広さに応じた多様な科目を展開します。
6. 各期に、少人数グループで行う実験実習科目を配置し、協力・協調する姿勢、自ら課題を発見し、問題を解決する能力、能動的学習習慣を身につけます。
7. 教育目的達成度調査結果、学生調査などに基づくポートフォリオ面談を行い、学生個々の学習成果とコンピテンシーについて長期的なルーブリックを用いた形成的評価を行います。
8. 1 年次から 2 年次までに修得した知識・技能・態度の到達度と獲得したコンピテンシーについて単位取得状況、GPA により総括的評価を行います。』

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
https://www.hus.ac.jp/academics_hus/amp/amp_jchus.html）

（概要）

本学の建学の精神、教育目的に基づき学科別に 5 項目（①基本方針②求める人材像と学力の 3 要素③学力の 3 要素と求める学習成果④求める学習成果と入学者選抜方法⑤入学前に習得すべき内容・水準）から成るアドミッション・ポリシーを策定している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
<https://www.hus.ac.jp/upload/files/pdf/info/organization/chart2020.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
自動車工学科	—	4人	4人	1人	2人	0人	11人
		人	人	人	人	人	人
		人	人	人	人	人	人
		人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		5人					7人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学 Web サイト (https://labs.hus.ac.jp/) において 公表					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
北海道科学大学と合同で実施している FD 講演会、学科の FD 研修会のほか、自動車メーカー、自動車整備振興会が主催する講習会及び学外で行われる教育方法に関する講習会等に参加しており、教員の FD への参加率は 100%である。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
自動車工学科	100人	49人	49%	200人	124人	62%	—	0人
合計	100人	49人	49%	200人	124人	62%	—	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
自動車工学科	70人 (1.4%)	1人 (1.4%)	66人 (94.3%)	4人 (4.3%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	70人 (1.4%)	1人 (1.4%)	66人 (94.3%)	4人 (4.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
札幌日産自動車株式会社、札幌トヨタ自動車株式会社、株式会社NICHIGO 他				

(備考) 詳細はホームページに記載					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
自動車工学科	77人 (100%)	70人 (90.9%)	5人 (6.5%)	2人 (2.6%)	0人 (0.0%)
合計	77人 (100%)	70人 (90.9%)	5人 (6.5%)	2人 (2.6%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学 Web サイトで公開されている教務ブック(シラバス含む)に掲載している。 https://navi.hus.ac.jp/system/tandai/</p> <p>また、授業計画書(シラバス)は、以下の項目で構成されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の基本的情報 (科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員) 2. 授業の目的 3. 授業の方法 4. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書を含む) 5. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応 6. 達成目標 7. 履修に当たっての留意点 8. 試験及び成績評価の方法
--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各授業科目の成績評価においては、達成目標の観点にふさわしい手段を用いて評価しており、具体的には、「知識・理解」に対応するものは主に試験を用いて評価し、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行っている。成績評価手段とその比率については、シラバス上に表を用いて明示している。</p> <p>成績評価は絶対評価で行う。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計100点に対する60点を合格基準としている。成績評価区分は、秀(S:90~100点)、優(A:80~89点)、良(B:70~79点)、可(C:60~69点)、不可(D:0~59点)に分けており、可上を合格とする。</p> <p>卒業の認定については、学則並びに履修規程に基づき、必要な単位の修得及び卒業付帯要件を満たしていることを教授会等で審議の上、学長が決定する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	自動車工学科	62単位	④・無	学期毎に18単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： https://navi.hus.ac.jp/upload/files/basis/regulation/4-01_tandai.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.hus.ac.jp/kokkashiken-goukakuritsu/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.hus.ac.jp/public-info/#07>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

【1年次】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
短期大学部	自動車工学科	1,100,000 円	200,000 円	- 円	

【2年次】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
短期大学部	自動車工学科	1,100,000 円	- 円	- 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

学修支援の取り組みとして、以下について実施している。

1. クラス担任制度

クラスは少人数編成で、各クラスに担任として教員を1名配置している。クラス担任は、修学上のことだけでなく、学生生活、就職についても相談に応じ、学生をバックアップしている。

2. オフィスアワー制度

学生からの学業及び学生生活全般にわたる質問・相談に対応するため、全教員がオフィスアワーを設定している。

3. 「ノートPC サポート室」

学生が使用するノートPCのトラブルに対応するため「ノートPC サポート室」を設置し、平常授業日は8時50分～18時00分、定期試験期間及び補講日は8時50分～17時00分まで開室しています。大学が契約しているライセンスにより、学生・教職員はマイクロソフト社のoffice (パワーポイント、ワード、エクセル等) 等のアプリケーションソフトを使用できるよう便宜を図っています。具体的な業務内容は、ノートPCのトラブル対応・アドバイス、ノートPCの貸出 (修理期間中)、ソフトウェアインストール等に関する相談受付となっています。

4. 学習支援室 (ラーニングサポート室)

数学・物理、英語、化学の学習をサポートしており、本学の学生であれば誰でも利用可能である。専任教員や学生スタッフが質問・疑問に答え、自学自習のための支援を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

各学科において、活動時期や内容が異なるため、学科の特色に合わせた就職支援を実施。現在は、新型コロナウイルス感染症の対策として、Web会議ツールを使用し、学生と企業の面談を実施するなどの支援をしている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

心的な問題を抱える学生のための相談室として、専門のカウンセラーを配する学生相談室を講義棟(A棟)に設置し(休業期間を除く平日の10:30~17:00)、電話、電子メール、手紙等、学生が利用しやすい方法で相談を受け付けている。精神的理由から誘発されたとされる身体的病症を訴える学生を医務室で対応することもあり、学生相談室では、医務室やクラス担任と連携を取りつつ、対人関係から学業まで幅広く学生の悩みに対応している。また、ハラスメント問題等の人権問題には、カウンセラーも配置された人権委員会が窓口となって対応している。

障がい学生支援については、入学時から支援申請希望者との面談を行い、学科や関係部署と連携し、必要に応じた適切な対応を行っている。また、随時、支援状況の確認を行うことで、継続的な個別支援を行っている。

これらの相談・支援窓口に関しては、本学ホームページや各パンフレットを作成して学生への周知・啓発に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <https://www.hus.ac.jp/public-info>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。